

令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

特定非営利活動法人医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク

1. 事業の成果

医療的ケア児者と家族を対象とした塾事業「楠元塾」では、沖縄塾生支援のため第1回実施の後には地元側の事情により実施に至らなかったが、GH事業所の認可に向けた準備が進められた。また、昨年度末に塾事業を行った愛媛県下では、ブリッジ奨学金で資格取得した塾生2名が新規事業所（児童発達支援、放デイ、生活介護）を開設した。なお、愛媛塾生と関係者の要請を受けて、第2期塾事業にあたるシンポジウムを計画中（令和8年6月実施予定）である。新規に塾事業の一環で立ち上げた「映像塾」は、年度前半の第1回（参加者10名）が好評を博し、年度下期に第2回（参加者8名）を実施した。修了者の中から、ヤマト福祉財団の紹介を得て、障害者福祉事業所のPR動画の制作を受託する方も出る等の実績が挙げられている。資格取得支援事業「ブリッジ奨学金」では、医療的ケア児(者)保護者による「全国医療的ケアライン(アイライン)」との連携が年度前半に実現したことにより、大幅な応募者増となり、最終的には10名(応募者12名)への支援を行った。愛媛地区の修了者2名が、共同で新規事業所を立上げることとなった。広報活動については、アイラインとの連携確保により自治体への直接アプローチは中止したが、個別のアイライン支部（愛知）への啓蒙活動は実施した。また、ブリッジ奨学金の利用拡大に向けて、資格取得PR動画ショート版3本、ブリッジマンガ2話を掲載するなど、前年度に開設した新ホームページの充実に引続き取組み、全国に向けて多様な広報活動を展開した。学生への啓発活動では、北九州市での医療的ケア児者のためのイベントに宮崎大学学生のボランティア参加を実施した。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業 ※支出額：損益計算書に基づく

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者	受益対象者の範囲・人数	支出額(円)
医療的ケア児者と家族を支援するしくみや手法の開発とその発信・共有・普及に関する事業	就労の仕組みづくり「楠元塾」	通年	沖縄県 愛媛県	4人	支援対象団体等 2団体	357,536
	就労のための支援「ブリッジ奨学金」	通年	全国	4人	資格取得者 10名	969,585
	周知活動	通年	アイラインとの連携	2人	※アイライン会員 3,901人(2024年11月時点)	—
医療的ケア児者と家族の支援に関する情報の収集・分析、および社会的認知のための広報・啓発事業	学生への啓発活動	通年	福岡県 宮崎大学	2人	学生ボランティア等 5名	94,684
	事業所開設支援PRビデオ・先行事例紹介ビデオの作成・HPの改訂	通年	HP	3人	ブリッジネットワーク・チャンネル(登録725名・動画30本) 累計13,390回視聴	1,530,344